

2016年度のインバウンドの取り扱いはどうだったか。 「人員ベースで約316万人、前年比約15%増となっている。ただ、マーケット全体の伸び率(約20%)は下回った。われわれは20年にインバウンド市場で20%のシェアを取るという目標を掲げている。当然、マーケット以上に伸びなければならず、下回ったことは残念だ」

「理由は二つ。一つは九州におけるクルーズが取り込めなかった。土産物屋と組んだ会社が非常に安い値段で取っていた。痛手で、あることは事実だが、この現象は日本にとってもよくない。外国人観光客が土産物屋ばかり連れ回され、駅前の分らないものを、とんでもない値段で買われたと後々批判が出かねない。国や自治体はもっと関心を持つべきだ。もう一つはジャパンカードがシステム上の不具合が出たり、使い勝手が悪く、若手苦戦した」

観光を成長戦略と位置付ける国の後押しを受け、今後の成長が見込める分野が「訪日インバウンド」と地方創生の「地域振興・観光振興」だ。JTBBでは、どう関わっていくのか。取締役訪日インバウンド・ビジネス推進部長の坪井泰博氏に訪日インバウンドの取り組みを、グループ本社執行役員国内事業本部法人事業部長(観光戦略推進担当)の古野浩樹氏に地域振興・観光振興の取り組みを聞いた。

法人事業部の概要を教えてください。

「法人事業部チームと観光戦略チームの二つのチームから成っています」

「法人事業部チームは、全国の団体旅行(MTTR、ビジネストラベルやプロモーションなど)いわゆる法人営業を束ねています」

「観光戦略チームは、エリアマネジメントへの参画を目指した地域交流事業を取り組んでいる。地方創生に関する観光振興事業や訪日インバウンド受け入れ事業の需要が高まっており、そこにさまざまなソリューションを提供している」

「観光戦略チームは、エリアマネジメントへの参画を目指した地域交流事業を取り組んでいる。地方創生に関する観光振興事業や訪日インバウンド受け入れ事業の需要が高まっており、そこにさまざまなソリューションを提供している」

訪日インバウンド



取締役 訪日インバウンド
ビジネス推進部長
坪井泰博氏

広域巡回バスで地方へ誘客

「外国人観光客の二つは『モノからコト』に移っているといわれるが、どう対応するのか。国内の体験型商品予約サイト『Asyoview』を運営するサンビューと着地型商品の開発、販売に関する包括的業務提携を結んでいるが、サンビューが持っている豊富なコンテンツやノウハウを利用した体験型商品を開発している」

人を派遣して一緒に地域振興に取り組むことや、今連携しているアンビユー社共同で開発した『エリアゲート』という地域コンテンツ管理販売システムを提供することを考えている

「JTBBグループでは、旅行業の枠を超えて、『交流』を創造する交流文化事業の推進によって地域の社会課題の解決を進めている。47都道府県にある支店が、地のお客さまに国内、海外旅行を提供するだけでなく、他地域からあるいは海外から地元にお客さまを取り組んでいる。JTBB旅水連、地元の行政、企業と組んでお客さまを創る『創客』事業だ。地域に埋もれているものを見つけて磨きをかけて発信し、地域の活性化につなげる」

「観光地づくりの舵取り役となる『日本版DMO』にどう対応するのだろうか」

「日本版DMOが地方創生につながる地域経営をどう進めるのかを思考している中で、JTBBができるソリューションは、経験豊かな」

地域振興・観光振興



グループ本社執行役員
国内事業本部法人事業部長
古野浩樹氏

JTBBは地域経営のパートナー

「高齡化社会を迎えている。高齢者が安心して日本を高齢者が安心して、安全に暮らせる街作りは重要な課題だ。全国で『日本版DMO』に取り組みしている市町村は数多い。元気なアクティブシニアに地域に来てもらって、あるいは必要の喚起に取り組んでいる。これを『エリアゲート』というプラットフォームで、市町村を元気にするのと地域振興や地方創生の大きなテーマだ。そういった取り組みにも、積極的に取り組んでいる」

「JTBBは、農業での人材育成として、熊本県山都町などで『食農観光』という地域リーダーの発掘、育成に取り組んでいる。プランニングで、JTBBがプロデュースした産品を『J's Agri』ブランドとして海外に売り込んでいる。415万人の情報を抱えるアジアへの情報発信サイト『Fun! Japan』の強化も一つの課題だ。地域振興を進めるには、地元の行政や観光施設との協力が欠かせない」

「『地域の方々の多くは、JTBBは旅行客を送ってくれる会社という感覚を持っている。ただ、JTBBはただ旅行客を送ってあげるだけではない。JTBBは、日本版DMOなど地域経営に対してもしっかり連携して、送客も行うが、コンサルティングや人材育成を含めた創客にも地域と一緒に」

JTBB旅水連特集

JTBBトップインタビュー

クレジット一括加盟店決済サービスにより手数料がお得!

C-REX

シーレックス 端末 インバウンド対応に好評!!

DCC※でさらに手数料がお得に!

インターネット光回線(LAN)接続に対応!

多彩な電子マネー・NFC決済に対応!

※訪日外国人向け自国通貨建てクレジット決済

お問合せはコチラ

JTB C-REXセンター 03-5796-5100 または JTB旅水連事業 03-3834-7051

ご利用には初期端末設置管理費30,000円(税別)/1台と、ランニングコストとして端末利用料月額1,500円(税別)/1台が必要となります。(ただし、クレジット一括加盟店決済サービスの利用が月額100万円以上/1台で無料になります) NFC決済対応につきましては、2017年冬以降リリース予定です。

万華鏡音

MANGEKYO

世界中を魅了した、和の総合舞台芸術。これぞ、THE日本エンタテインメントショー! 和太鼓と最先端技術が織りなす、圧巻のステージを目撃せよ。

2017年秋、東京・品川にて開幕。

■開催期間: 2017年9月16日(土)~10月29日(日)

■出演: DRUM TAO (ドラム タオ)

■会場: 品川プリンスホテル「Club eX」(住所: 東京都港区高輪4-10-30)

■主催: 株式会社JTBBコミュニケーションデザイン

■企画・制作: 株式会社JTBBコミュニケーションデザイン、株式会社タオ・エンターテインメント

■協力: 株式会社ファミリーマート、品川プリンスホテル

■入場料: 前売券A席(1F 前方一般シート) 6,500円

前売券B席(1F 後方ベンチシート) 8,000円<お土産・1ドリンク付き>

前売券C席(2F テラスシート) 9,000円<お土産・1ドリンク・オードブル付き>

※チケットは下記公式ホームページよりお買い求めいただけます。

■公式ホームページ: <https://mangekyo-tokyo.com/>

オフィシャルパートナー: JAL, ANA, 伊右衛門